



今回のリハビリだよりは、在宅でよく使われている介護ベッド使用時の注意点や介助が少し楽になる方法をお伝えできればと思います。ご存じの方もいらっしゃると思いますがおつき合い下さい。

今回は①背上げ②足上げ③高さ調整のできるタイプの

介護ベッドについてお話させていただきます。①背上げの機能は起き上がりを助けてくれます。ベッド上で座る際やベッド横に腰掛ける際に使用します。背上げを使用する際に注意していただきたい点は寝ている位置です。足の付け根(股関節)と背上げの際にベッドの曲がる位置を合わせておくと、体を起こした際に姿勢よく体を起こすことができます。また②足上げを行ってから①の背上げを行うと体が足方向にずれ落ちることなく良い姿勢で起きることができます。③高さ調整についてはベッドの高さを調整ができます。ベッド上の方のお手伝いをする際に前かがみになりすぎないように調整しましょう。介助者の股下あたりに高さを調整すると寝返りやオムツ交換などの際に前屈みが軽くなり腰痛予防につながります。

介護ベッドの動作はゆっくりで“待ってられない”や“動かすのが億劫”などお話を伺うことがありますが、お家の日々の生活では起こしたり、座らせたり、寝返りをさせたりと何回、何十回と繰り返し行うことになりますので、面倒に思わずに使える機能は最大限ご利用いただければと思います。簡単ではございますが介護ベッド使用時のコツをお伝えさせていただきました。写真のモデルを引き受けていただいたYさんありがとうございました。

理学療法士 磯貝恭兵



クリニックからのお知らせ

“第2回 シリウスフェスティバル” 開催のご案内



- 日時：令和6年7月6日(土)
午前9時～12時
- 会場：いしが在宅ケアクリニック

内容等の詳細につきましては
次号に掲載いたします。



医療法人 SIRIUS

いしが在宅ケアクリニック

〒512-8048 三重県四日市市山城町749番地37

TEL:(059) 336-2404 FAX:(059) 336-2405

デザイン・製作 あどプランニング

いしが在宅

検索



いしが在宅ケアクリニックNEWS

Ishiga Home Care Clinic News

令和6年 春号 Vol.45

開院のごあいさつ

2024年4月1日に鈴鹿市高岡町にいしが在宅ケアクリニック鈴鹿を開院し、常勤医師1名、非常勤医師1名、看護師2名、医療ソーシャルワーカー1名、医療事務2名でスタートいたしました。

現在は訪問エリアを限定させていただいておりますが、今後はスタッフを増員し鈴鹿全エリアへ拡大していきたいと考えています。ソーラーパネルや電気自動車を導入し、地球環境にも配慮したクリニックです。四日市本院で学んだノウハウを生かし、地域の病院・訪問看護や介護サービス事業所と連携し、心のこもった在宅医療をお届けしたいと思います。鈴鹿エリアの地域医療に貢献できるようスタッフ一同全力で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

いしが在宅ケアクリニック鈴鹿 院長 三吉 彩子

